

(様式例第11)



JA 徳厚本発第302号  
平成28年8月1日

徳島県知事  
飯泉 嘉門 殿

住 所 徳島県徳島市北佐古一番町5番12号

申請者 徳島県厚生農業協同組合連合会  
氏 名 代表理事理事長 齋藤伸一 印

阿南中央病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒770-0011 徳島県徳島市北佐古一番町5番12号
氏名	徳島県厚生農業協同組合連合会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

阿南中央病院
--------

3 所在の場所

〒774-0045 徳島県阿南市宝田町川原2番地 電話 ( 0884 ) 22 - 1313
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	50床	179床	229床

(様式例第 12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

地域医療支援病院 紹介率	60.5 %	算定 期間	H27年 4月 1日～ H28年 3月 31日
地域医療支援病院 逆紹介率	86.5 %		
算出 根拠	A : 紹介患者の数		2,915 人
	B : 初診患者の数		4,819 人
	C : 逆紹介患者の数		4,167 人

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

地域医療支援病院紹介率 27年度

月	A 初診患者	B休日夜間 救急外来数	計	紹介患者	紹介率
4月	504	101	403	267	66.3
5月	482	139	343	210	61.2
6月	477	51	426	246	57.7
7月	498	74	424	249	58.7
8月	509	89	420	212	50.5
9月	474	103	371	235	63.3
10月	539	100	439	277	63.1
11月	451	87	364	251	69.0
12月	513	79	434	252	58.1
1月	451	58	393	231	58.8
2月	510	119	391	246	62.9
3月	540	129	411	239	58.2
合計	5948	1129	4819	2915	60.5

## 地域医療支援病院逆紹介率 27年度

H27.4~H28.3

月	初診患者	逆紹介患者	逆紹介率
4月	403	391	97.0%
5月	343	312	91.0%
6月	426	371	87.1%
7月	424	350	82.5%
8月	420	305	72.6%
9月	371	334	90.0%
10月	439	415	94.5%
11月	364	339	93.1%
12月	434	362	83.4%
1月	393	277	70.5%
2月	391	330	84.4%
3月	411	381	92.7%
合計	4819	4167	86.5%

$$\frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100 = \text{逆紹介率}$$

(様式例第 13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 非専従	7.5	
2	医師		常勤 非専従	7.5	
3	医師		常勤 非専従	7.5	
4	医師		常勤 非専従	7.5	
5	医師		常勤 非専従	7.5	
6	医師		常勤 非専従	7.5	
7	医師		常勤 非専従	7.5	
8	医師		常勤 非専従	7.5	
9	医師		常勤 非専従	7.5	
10	医師		常勤 非専従	7.5	
11	医師		常勤 非専従	7.5	
12	医師		常勤 非専従	7.5	
13	医師		常勤 非専従	7.5	
14	医師		常勤 非専従	7.5	
15	医師		常勤 非専従	7.5	
16	看護師		常勤 非専従	7.5	
17	看護師		常勤 非専従	7.5	
18	看護師		常勤 非専従	7.5	
19	看護師		常勤 非専従	7.5	
20	看護師		常勤 非専従	7.5	
21	看護師		常勤 非専従	7.5	
22	看護師		常勤 非専従	7.5	
23	看護師		常勤 非専従	7.5	
24	看護師		常勤 非専従	7.5	
25	看護師		常勤 非専従	7.5	
26	看護師		常勤 非専従	7.5	
27	看護師		常勤 非専従	7.5	
28	看護師		常勤 非専従	7.5	

29	看護師		常勤	専従	7.5	
30	看護師		常勤	専従	7.5	
31	看護師		常勤	専従	7.5	
32	看護師		常勤	専従	7.5	
33	看護師		常勤	専従	7.5	
34	看護師		常勤	専従	7.5	
35	看護師		常勤	専従	7.5	
36	看護師		常勤	専従	7.5	
37	看護師		非常勤	専従	6.25	
38	看護師		非常勤	専従	6.75	
39	看護師		非常勤	専従	4.0	
40	看護師		非常勤	専従	5.25	
41	看護師		非常勤	専従	4.0	
42	看護師		非常勤	専従	4.0	
43	看護師		非常勤	専従	6.25	
44	准看護師		非常勤	専従	4.5	
45	薬剤師		非常勤	専従	7.5	
46	薬剤師		常勤	非専従	7.5	
47	薬剤師		常勤	非専従	7.5	
48	薬剤師		常勤	非専従	7.5	
49	薬剤師		常勤	非専従	7.5	
50	薬剤師		常勤	非専従	7.5	
51	薬剤師		常勤	非専従	7.5	
52	検査技師		常勤	非専従	7.5	
53	検査技師		常勤	非専従	7.5	
54	検査技師		常勤	非専従	7.5	
55	検査技師		常勤	非専従	7.5	
56	検査技師		常勤	非専従	7.5	
57	検査技師		常勤	非専従	7.5	
58	検査技師		常勤	非専従	7.5	
59	診療放射線技師		常勤	非専従	7.5	

60	診療放射線技師		常勤	非専従	7.5	
61	診療放射線技師		常勤	非専従	7.5	
62	診療放射線技師		常勤	非専従	7.5	
63	診療放射線技師		常勤	非専従	7.5	

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	5床
専用病床	5床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

## 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急診察室	11.83 m <sup>2</sup>	心電図モニター・超音波診断装置 除細動器・ベッドサイドモニター 簡易人工呼吸器・心電計・無影灯	可
救急処置室	31.69 m <sup>2</sup>	ストレッチャー・バイポーラ 生体情報モニター・輸液ポンプ	可
MRI室	42.40 m <sup>2</sup>	日立 ECHELON Vega 心電図モニター・救急カート	可
CT室	32.08 m <sup>2</sup>	東芝 AQUILION PRIME TSK-303A 心電図モニター・救急カート	可
血管撮影室	53.55 m <sup>2</sup>	フィリップス INTEGRIS-CV	可
X線一般撮影室①	22.46 m <sup>2</sup>	日立一般撮影：DHF-155H II	可
X線一般撮影室②	31.50 m <sup>2</sup>	日立一般撮影：DHF-158H II	可
透視室	24.06 m <sup>2</sup>	日立透視撮影装置：TU-6000	可
超音波撮影室	14.47 m <sup>2</sup>	日立超音波装置：EUB-7500	可
内視鏡室①	27.10 m <sup>2</sup>	オリンパス EVIS LUCERA ELITE	可
内視鏡室②	18.77 m <sup>2</sup>	オリンパス LUCERA CV-260SL	可

手術室 1	56.49 m <sup>2</sup>	無影灯 (4 台) ・手術台 (4 台) 中央配管 (酸素、吸引、圧縮空気、笑気ガス、窒素) ・手洗い装置 ・カウンターショック ・全身麻酔台 (4 台) ベッドサイドモニター ・電気メス 凝固止血器 ・シリンジポンプ 人工骨頭手術機械 ・微小血管手術器具 ・内視鏡下胆嚢摘出術機械 ・関節鏡用手術機械 ・リトクラスト (結石破碎装置) ・泌尿科ヤグレーザー式	可
手術室 2	51.42 m <sup>2</sup>		可
手術室 3	47.29 m <sup>2</sup>		可
小手術室	50.23 m <sup>2</sup>		可

#### 4 備考

救急告示病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令 (昭和 39 年厚生省令第 8 号) に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について (昭和 52 年 7 月 6 日付け医発第 692 号厚生省医務局長通知) に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

#### 5 救急医療の提供の実績

別紙

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	331 人 ( 162 人)
上記以外の救急患者の数	798 人 ( 184 人)
合計	1129 人 ( 346 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。  
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

#### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2 台
---------------	-----



別紙

平成27年度救急車搬入件数 331件

$$331/126,863 \times 1000 = 2.61$$

救急車搬入件数/徳島県南部Iの救急医療圏人口 $\times 1000 > 2$

\*救急医療圏人口は徳島県統計情報より抜粋(2016.1.1現在)

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用医療機関延べ数	841 件
(内 開設者と直接関係がない医療機関延べ数)	(841) 件
共同利用病床利用率	52.7 %

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

別紙①のとおり
---------

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有・無 (27年度に関しては、医師会病院の為、全医療機関を対象とする)

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名:  
職 種: 看護師

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿 別紙②のとおり

医療機関名  
開設者

住 所  
主たる診療科名  
地域医療支援病院開設者との経営上の関係

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	179 床
--------------	-------

## 別紙①

## 共同利用高額医療機器の使用状況

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28年 3 月31日)

検査名	直接紹介	間接紹介	その他	合計
MR I	582	179	381	1,142
CT	684	801	1,515	3,000
腹部エコー	19	47	247	313
マンモグラフィ	0	463	1,054	1,517
X線テレビ	0	58	189	247
血管造影撮影装置	0	8	8	16
G F	135	245	236	616
C F	152	17	163	332
E R C P	1	0	0	1
B F	0	0	0	0
E S W L	53	0	55	108

平成27年度受託医療機関一覧

平成27年4月～平成28年3月

◎会員(48施設)

村上内科循環器(ク)	上村皮膚科	明治橋診療所	富永医院	廣瀬医院
天羽クリニック	王子製紙診療所	是松医院	土肥医院	富士医院
生野外科胃腸科	上那賀病院	じぞうばし福井診療所	中野診療所	藤井医院 (9/1より社のホスピタル)
井坂クリニック	かじかわ整形外科	島 内科眼科医院	板東医院	森本内科胃腸科
伊島診療所	加茂谷診療所	清水医院	羽ノ浦整形外科医院	益崎胃腸科医院
村上内科外科	賀島眼科医院	宮本病院	林 整形外科	和田胃腸科内科
あなん戸田皮膚科	岸 医院	正静絹(老人健保)	原田医院	馬原医院
井原医院	さくち医院	高橋内科クリニック	原田病院	三谷内科
瀧 内科外科	木下産婦人科	玉真医院	松尾医院	
岩城クリニック	健生阿南診療所	殿谷整形外科医院	松崎内科医院	

◎会員外(6施設)

関内科消化器科	藤野医院	松村内科
高岡消化器科	マスカット内科	さんかん内科外科

平成27年度受託臨床検査件数

会員十会員外

部門	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般検査	167	153	201	155	136	135	140	102	145	119	146	21	1,620
血液検査	1,191	1,002	1,147	1,107	942	928	1,246	934	872	889	984	930	12,172
細菌検査	246	268	272	243	219	231	229	213	223	192	241	230	2,807
細菌(外注)	32	31	16	22	30	32	42	35	26	32	34	32	364
生理検査	98	332	6	5	2	7	2	7	4	5	5	6	479
生化学検査	2,603	2,220	2,427	2,487	2,292	2,175	2,782	2,016	2,034	1,775	2,069	1,956	26,836
血清検査	568	388	427	370	328	329	442	315	323	319	379	453	4,641
病理検査	138	126	166	155	135	175	178	129	158	135	140	121	1,756
輸血検査	27	21	18	20	25	25	21	18	25	15	12	9	236
合計	5,070	4,541	4,680	4,564	4,109	4,037	5,082	3,769	3,810	3,481	4,010	3,758	50,911

平成27年4月～平成28年3月

	医療機関名	開設者	住所	主診療科	経営上の関係
1	上村ヒフ科	上村寛行	阿南市大潟町30	産婦	無
2	自宅会員	和田 功	那賀郡那賀町和喰字町98	内	無
3	自宅会員	土橋 哲夫	阿南市羽ノ浦町宮倉羽ノ浦居内26-1	内	無
4	自宅会員	稲井 力	阿南市富岡町滝の下41	婦	無
5	自宅会員	村上 昭三	阿南市那賀川町島尻932-2	内	無
6	賀島医院	賀島 正博	阿南市富岡町西石塚7-5	眼	無
7	原田病院	原田 正和	阿南市富岡町あ石14-1	整	無
8	自宅会員	粟飯原 学	阿南市見能林町清水山の東7-1	内	無
9	橋診療所	中野 益弘	阿南市椿町地蔵ヶ谷7-2	内	無
10	自宅会員	板垣 勇	阿南市富岡町佃町542-1	内	無
11	自宅会員	児玉 一郎	阿南市羽ノ浦町宮倉太田12-2	産婦	無
12	森本内科胃腸科	森本 恭史	阿南市富岡町あ石16-1	内	無
13	天羽クリニック	天羽 達郎	阿南市桑野町中野95-2	外	無
14	玉真病院	玉真 捷二	阿南市宝田町荒井20	外	無
15	馬原医院	馬原 文彦	阿南市新野町信里6-1	外	無
16	富士医院	石川 富士郎	阿南市新野町西馬場3-3	内	無
17	杜のホスピタル	藤井 哲	阿南市見能林町築溜1-1	精神	無
18	岸医院	岸 彰	阿南市富岡町トノ町54-1	小	無
19	宮本病院	宮本 英之	阿南市羽ノ浦町古庄古野神4-14	外	無
20	三谷内科	三谷 裕昭	阿南市富岡町東仲町313-2	内	無
21	羽ノ浦整形外科内科病院	小川 恭弘	阿南市羽ノ浦町宮倉芝生40-11	整	無
22	井原医院	井原 義雄	阿南市見能林町中かうや9番1	内	無
23	宮本内科明治橋診療所	宮本 弘	阿南市羽ノ浦町古庄大坪原42-7	内	無
24	岡本眼科	岡本 好博	阿南市津乃峰町長浜392-2	眼	無
25	殿谷整形外科医院	殿谷 隆一	阿南市津乃峰町戎山149-75	整	無
26	清水医院	清水 省五	阿南市下大野町大平265-2	眼	無
27	木下産婦人科内科医院	木下 恒夫	阿南市学原町上水田11-7	産婦	無
28	林整形外科	林 一幸	阿南市見能林町堤ノ内 6-1	整	無
29	高橋内科クリニック	高橋 学	阿南市羽ノ浦町宮倉前田3-7	内	無
30	和田胃腸科内科医院	和田 久徳	阿南市西路見町元村7-7	胃腸	無
31	廣瀬医院	廣瀬 政寛	阿南市上中町岡293-1	内	無
32	自宅会員	川田 文也	阿南市宝田町平岡828-1	耳鼻	無
33	むらかみ内科循環器クリニック	村上 昌	阿南市羽ノ浦町宮倉太田35-2	内	無
34	松尾医院	松尾 嘉彦	阿南市内原町長谷64-1	脳外	無
35	生野外科胃腸科	生野 文彦	阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ15-1	外	無
36	益崎胃腸科内科医院	瀬川 淳	阿南市那賀川町赤池178-2	内	無
37	是松医院	是松 秀樹	阿南市津乃峰町東分112-1	内	無
38	介護老人保健施設正静荘	原田 純	阿南市桑野町岡元1-1	内	無
39	山本医院	山本 弘幸	那賀郡那賀町延野字大原206-14	外	無
40	村上内科外科医院	村上 寛雅	阿南市那賀川町中島482	外	無
41	富永医院	富永 俊彦	阿南市羽ノ浦町中庄市49-3	内	無
42	井坂クリニック	井坂 寿一	阿南市津乃峰町長浜376-1	内	無
43	土肥医院	土肥 正人	阿南市見能林町東石仏2	内	無
44	松崎内科医院	松崎 敏朗	阿南市中大野町北傍示483-1	内	無
45	わだ内科	和田 達也	那賀郡那賀町和食郷字南川87-1	内	無
46	けんなんメンタルクリニック	後藤 宏樹	阿南市日開野町筒路15-1 阿南開発ビル5F	心療内科	無
47	きくち医院	菊池 健	阿南市新野町南宮ノ久保67-4	内	無
48	幸田耳鼻咽喉科医院	幸田 純治	阿南市富岡町今福寺73-3	耳鼻	無
49	島内科眼科医院	島 孝仁	阿南市富岡町東新町99	内	無
50	阿南天満クリニック	天満 仁	阿南市上中町南島325-1	内	無
51	瀧内科外科医院	瀧 真二	阿南市才見町屋那婆24-1	内	無
52	原田医院	原田 浩臣	阿南市桑野町岡元5-1	内	無
53	岩城クリニック	岩城 孝	阿南市学原町上水田11-1	心療内	無
54	あなん戸田皮膚科医院	戸田 則之	阿南市上中町岡357-1	皮膚	無
55	賀島眼科	賀島 誠	阿南市富岡町玉塚5	眼	無
56	かじかわ整形外科	梶川 智正	阿南市日開野町筒路19-14	整	無
57	板東医院	板東 玄太郎	阿南市内原町筒崎1-2	内	無
58	あなん皮フ科クリニック	山本 忠正	阿南市日開野町谷田511-2	皮	無
59	古川小児科内科医院	古川真祐	阿南市領家町土倉17-1	小	無

	医療機関名	開設者	住所	主診療科	経営上の関係
60	阿南共栄病院		阿南市羽ノ浦町中庄蔵ノホケ36	外	有
61	じぞうばし内科外科福井診療所	後藤 俊	阿南市福井町大西180-6	内	無
62	介護老人保健施設悠心館	馬原文彦	阿南市新野町信里6-1		無
63	加茂谷診療所	阿南市	阿南市加茂町野上30	外	無
64	健生阿南診療所	理事長 児島誠一	阿南市津乃峰町新浜12-2	内	無
65	王子製紙(株)富岡診療所		阿南市豊益町吉田1	内	無
66	那賀町立上那賀病院	那賀町長	那賀郡那賀町小浜137-1	外	無
67	那賀町国民健康保険木頭診療所	那賀町長	那賀郡那賀町木頭和無田字イワツシ1	内	無
68	日野谷診療所	那賀町長	那賀郡那賀町大久保字大西3-2	外	無

(様式例第 15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

<ul style="list-style-type: none"><li>・医学、医療に関する講演会（学術講演会）</li><li>・地域の医師等を含めた症例検討会</li><li>・その他研修会</li></ul> <p>別紙③のとおり</p>
--

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	12回
(2) (1) の合計研修者数	524人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無  有・無  
イ 研修委員会設置の有無  有・無 学術講演会、症例報告会合わせて年間 12 回  
ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	内科	院長	46 年	教育責任者
	医師	外科	外科診療部長	35 年	
	医師	整形外科	整形外科診療部長	37 年	
	医師	泌尿器科	泌尿器科診療部長	27 年	
	医師	放射線科	放射線科診療部長	29 年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

阿南市医師会学術講演会開催記録 平成27年度

例会	月日(曜日)	演題	演者	座長	参加人数
平成27年4月	4月16日(木)	肝疾患における最近の話題	徳島県立中央病院 消化器内科 部長 先生	内科医長	47名
5月	5月21日(木)	ヘリコバクターピロリ感染症 診断から治療まで	公益財団法人とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健康センター 診療部 医長 先生	三谷内科 院長	43名
6月	6月18日(木)	心房細動にアブレーション治療をすることでわかってきたこと -術後の反応から合併症まで-	徳島赤十字病院 第一循環器内科部長 先生	むらかみ内科循環器クリニック 院長	53名
7月	7月16日(木)	外来インスリン導入の工夫 患者さん目線から糖尿病治療を考える	碩心館病院 院長 先生 坂出市立病院 糖尿病内科 部長 先生	三谷内科 院長	台風のた め中止
8月	8月20日(木)	「便秘について」 ～日常診療から緩和を含むがん治療時の対応まで～	香川県立中央病院消化器内科 部長 先生	内科医長	38名
10月	10月15日(木)	(ワクチン講習会)予防接種の最近の話題 -4価インフルエンザワクチンやB型肝炎ワクチンの定期接種化の動向について-	一般財団法人 化学及血液療法研究所 営業部 西日本学術課 主任		26名
10月	10月22日(木)	糖尿病における血圧管理:降圧薬・β遮断薬のベネフィット	徳島大学大学院歯薬学薬学研究部心臓血管病態医学分野 特任教授 先生	むらかみ内科循環器クリニック 院長	39名
11月	11月19日(木)	関節リウマチ、脊椎関節炎、繊維筋痛症診療でのRAエキス パートナーズの役割 リウマチ疾患の肺病変について	阿南共栄病院 看護部 徳島大学病院 呼吸器・膠原病内科 講師 先生	阿南共栄病院 内科 主任部長	69名
平成28年1月	1月21日(木)	診療所における喘息の診断と治療-軽症喘息を中心に-	亀井内科呼吸器科医科院院長 先生	むらかみ内科循環器クリニック 院長	40名
2月	2月18日(木)	内科医としての不眠症診療	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学 教授 先生	むらかみ内科循環器クリニック 院長	27名
2月	2月25日(木)	(県南ワクチン研究会) ワクチンと関連した小児救急の症例 予防接種 ～最近の話題を中心に～	徳島赤十字病院 第二小児科 先生 川崎医科大学 小児科 講師 先生	岸医院 院長	25名



阿南市医師会症例報告会開催記録 平成27年度

例会	月日(曜日)	演題	演者	座長	参加人数
平成27年9月	9月17日(木)	<p>症例報告会 4題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糖尿病患者の入院時と退院時の感情負担の変化 ～糖尿病問題領域質問表(PAID)を生かしたエンパワメントアプローチを行って～</li> <li>2. 撮影困難なマンモグラフィーブラインドエリアの2症例</li> <li>3. ダニ刺咬後の発熱を主訴とした猫ひっかき病の1例</li> <li>4. CA19-9産生肺癌の1例</li> </ol>	<p>看護師</p> <p>放射線部 内科 外科</p>	<p>看護師長</p> <p>外科 外科 外科</p>	51名

平成28年3月	3月17日(木)	<p>症例報告会 6題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族と共に行うエンゼルケアの効果 ～グリーフケアに繋げていくために～</li> <li>2. 内視鏡的止血術を施行した径直腸的前立腺生検後出血の2例</li> <li>3. プイトラン拘縮治療薬ザイヤフレックスの使用経験</li> <li>4. 乳腺チームの課外活動</li> <li>5. うつ病と認知機能</li> <li>6. 多彩な経過を示した分類不能免疫不全症(CVID)の1例 -統報-</li> </ol>	<p>看護師</p> <p>内科</p> <p>整形外科 乳腺外科 岩城クリニック理事長 三谷内科院長</p>	<p>看護主任</p> <p>外科</p> <p>外科 むらかみ内科循環器クリニック 院長 むらかみ内科循環器クリニック 院長 むらかみ内科循環器クリニック 院長</p>	66名
---------	----------	--	---	---	-----

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
会議室・講堂	226.89 m <sup>2</sup>	会議机・椅子・液晶プロジェクター・マイク ホワイトボード・レーザーポインター 録音機・ビデオ
図書研究室	43.26 m <sup>2</sup>	会議机・椅子・書架・蔵書・パソコン・コピー機

## 5 施設の構造設備

施設名	設備概要
ハイケアユニット HCU	(主な設備) DC(ライフパック9) BF用ペンタックス光源装置 気管支F 心電計 ベッドサイドモニター 人口呼吸器 HD 病床数 5 床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置 (BM6050) フジドライケム7000 アーキテ クトi1000SR 検査システム(SUN) 尿分析装置 BC- ロボ 遠心機 顕微鏡
細菌検査室	(主な設備) オートクレーブ 顕微鏡 フラン器
病理検査室	(主な設備) 凍結切片作製装置 自動包埋装置 パラフィンブロック作製装置 顕微鏡 ミクロトーム
病理解剖室	(主な設備) 解剖台 臓器重量測定器 無影灯
研究室	(主な設備) 会議机 椅子 テレビ DVD シャーカステン
講義室	室数 1 室 収容定員 100人
図書室	室数 2 室 蔵所数 1,500 冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) ストレッチャー コールボタン 酸素ポンペ 保有台数 2 台
医薬品情報管理 室	[専用室] 床面積 33.58 m <sup>2</sup>

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院 長	
管理担当者氏名	事務部長	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		カルテ庫 フィルム保管庫 倉庫 資料室	移動ラック、書庫で 各資料を年度別に分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	医事課	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	庶務課	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	病診連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

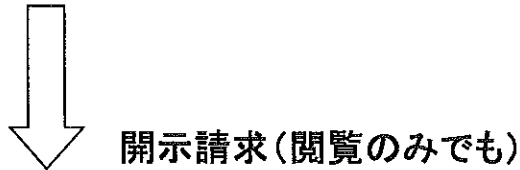
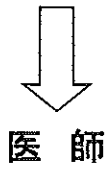
(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	院長	
閲覧担当者氏名	事務部長	
閲覧の求めに応じる場所	事務部長室	
閲覧の手続の概要		
別紙④のとおり		

前年度の総閲覧件数		5件
閲覧者別	医師	件
	歯科医師	件
	地方公共団体	件
	その他	5件

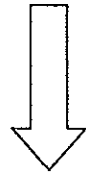
# 診療情報提供の流れ

本人・代理権のある6親等以内の親族



受付

(各種必要書類等の記載に関する説明と確認)



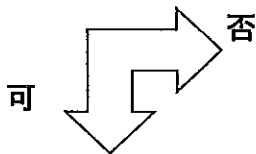
事務部長



情報提供推進委員会開示の可否決定



院長



県医師会情報提供委員会

主治医



本人・親族

☆各種必要書類等

1. 診療記録等の開示申請書
2. 委任状
3. 謄本(本人との関係を示す物)
4. 免許証又はパスポート
5. 開示請求の目的の確認

本人の場合確認は  
主治医、病棟・外来師長

- ・ 申込みから開示まではおおむね1週間内に終了するようにする。
- ・ 原則として閲覧以外の方法で実施するものとする。
- ・ 主治医が不在の時、情報提供は各科の長・院長が指名したものが実施する。

(様式例第 18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1 回	
委員会における議論の概要		
* 第 16 回は平成 28 年 2 月 29 日に開催 (別紙⑤のとおり)		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

別紙⑤

第 16 回地域医療支援病院委員会

日時：平成 28 年 2 月 29 日（月）午後 7 時

場所：阿南医師会中央病院 2 階会議室

出席者：委員

■■■■ 会長、■■■■ 副会長、■■■■ 副会長、■■■■ 市保健福祉部長  
■■■■ 薬剤師会阿南那賀支部長、■■■■ 歯科医師会阿南那賀支部長（6 名）  
  
■■■■ 院長（病診連携室室長）、■■■■ 副院長、■■■■ 次長（事務部長代理）  
■■■■ 看護部長、■■■■ （阿南共栄病院事務長） ■■■■ 事務員

1. 委員長挨拶

■■■■ 委員長より、委員会開催の挨拶を述べた。

2. 平成 26 年度、27 年度上半期の業績報告

■■■■ 病診連携室室長より、地域支援病院の要件として（1）病総数について（2）紹介率について（3）機器の共同利用について（4）生涯教育等の研修について（5）救急搬入件数等について説明が行われた。

また、医師が減少し救急患者の受入が厳しくなっている中、全体の患者数は減少しているが検査に対しての紹介率で、今年度上半期に関しては、増加傾向であると述べた。

3. その他

■■■■ 次長より、平成 28 年 4 月 1 日より、阿南中央病院としての地域医療支援病院がスタートします。引続き、委員の継続よろしく申し上げます。

■■■■ 委員長より、新病院になっても要件を満たしていけるように努力してもらいたいと述べられ、委員との間でも、激しい意見交換が行われた。

福祉部長より、平成 30 年 3 月に阿南健康づくりセンターが完成するとともに、道路も拡大し住民が利用しやすくなると述べられた。



(様式例第 19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他(病診連携室)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	
患者相談件数	5,084 件
患者相談の概要	
<p>介護保険についての説明 介護保険の新規申請・区分変更申請 介護保険施設への入所について 検査の説明 当病院への外来受診及び入院について 他病院・他施設への転機先について 自宅での療養について 当院・他病院の受診科について 医療費等について 身体障害者の手続きについて 患者からのクレーム対応 成年後見についての説明</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。